

知的障害の児童生徒の教育

知的障害のある児童生徒の言語面、運動面、知識面、社会性等の発達の状態を十分に把握した上で、一人ひとりに応じた個別の指導や集団での指導を進めます。

基礎的な言葉や数等の理解を進めたり、身の回りのことを一人でできるようにしたりするために、日常のいろいろな場面で自信をもって意欲的に諸活動に取り組み、生活に役立つ力を引き出せるよう、指導を工夫します。

また、集団活動で対人関係を円滑にしたり、社会生活能力を高めたりするとともに、卒業後の生活に必要な知識、技能、態度が身に付くように、具体的な活動を通して指導を行います。特に、実際に働く体験を通して、働く喜び、自立への意欲を育てるようにしています。



◎指導や支援の留意点

- ・能力、興味関心、発達段階等に応じた活動内容を用意します。
- ・活動の手順や方法を図示等により具体的に説明するなど、見通しをもたせるようにします。
- ・具体的な言葉かけや教材・教具の工夫等、一人ひとりに応じた支援をします。
- ・学校生活の中でも、手伝いの場面等、認める機会を意図的に用意します。
- ・問題行動などを叱るよりも、望ましい行動等を認めるようにします。